



民俗行事「庚申待」

佐治町福園地内
2月20日(金)

佐治歴史民俗資料館民話の館で民俗行事「庚申待」が行われました。佐治小学校5年生6人がさじ谷話を披露すると、見事な語りにより大人たちは感心しました。さじ民話协会会员によるさじ谷話が語られると、会場は昔懐かしい雰囲気になります。昔懐かしい雰囲気にも包まれ、世代を超えて佐治に伝わる民話に親しみました。



悪質な詐欺にあわないために

気高町浜村地内
2月19日(木)

悪質な詐欺から身を守るための講座が気高町コミュニティセンターで開催されました。鳥取市消費者団体連絡協議会による寸劇で実際の手口を学んだあと、鳥取市消費生活センター相談員から対応策などの説明を受けました。参加者たちは詐欺被害への防止意識を高めていました。



一緒に過ごす楽しいね

河原町牛戸地内
2月17日(火)

地域の人々が気軽に集い、児童との交流を楽しむ「西郷カフエ」が西郷小学校で開催されました。のびのびと過ごせるのがカフエの魅力。この日は児童が地域のひとと一緒に折り紙を楽しんだり、ゲームやおはじきで遊んだりして、会場は笑い声あふれるあたたかな空気に包まれました。



万葉衣装でおもてなし

国府町内
2月17日(火)～20日(金)

旧正月にあわせ、「因幡国府万葉ウィーク」を開催しました。期間中は、町内の郵便局やJA鳥取いなば国府支店などの職員が色鮮やかな衣装を身に付けて勤務し、「万葉のふるさと」をPRしました。華やかな装いに、来訪者との会話が弾み、笑顔あふれる温かな交流の輪が広がりました。



より魅力的な公園にするために

青谷町吉川地内
2月28日(土)

「魅力ある史跡公園づくりを進めるつどい」が青谷かみじち史跡公園で開催され、16人が参加しました。参加者は、フィールドワークで公園内や周辺を歩き、現状や課題を確認。その後グループワークを行い、公園をさらに魅力的にするための今後の取り組みに向けた意見交換を行いました。



鹿野ゆかりの文人たち「作品展」

鹿野町鹿野地内
3月1日(日)

鹿野町にゆかりのある文人・作家たちが残した書や絵の展示が鹿野往来交流館童里夢で行われました。町内に所蔵されている作品が久しぶりに公開され、観覧に訪れた人からは、「鹿野の文化的な歴史に触れられて素晴らしい」「見ることで良くなった」などと感嘆の声が聞かれました。



「こっちも見たい! あっちも見たい!」

元大工町地内
2月25日(水)

城下町とつとり交流館「高砂屋」でひな飾りを展示する催しが行われ、市民から寄贈されたものや近隣から借りたものなど40点が並びました。この日はルイテル幼稚園の園児18人が訪れ「これはおひなさま、これはおぼんぼり」と楽しそうに話しながら観賞していました。



あの時のこと、家族のこと

幸町地内
2月12日(木)

親子のふれあいや家族団らんなどを書いた家庭の日記作文コンクールの表彰式が行われました。最優秀賞に選ばれたのは、中学生になり忙しい日々を送る中でも両親を支えたいと、自分でできることを前向きに模索し、週に一度、家族のために夕食を作る様子をつづった作文です。



おもてなし向上にむけて

福部町細川地内
2月4日(水)

今年で第40回を迎える鳥取砂丘らつきょう花マラソン大会(10月25日開催)をさらに盛り上げようと、地元若手らつきょう生産者や観光事業者がワークショップを開催しました。参加者は「より多くのランナーをおもてなしで迎えたい」と意気込みました。



桃の節句に童謡を合唱

用瀬町別府地内
3月3日(火)

「流しびなの館で童謡をうたう会」が開催されました。もちがせ保育園の園児など80人以上の参加者とともに、わらべ館童謡・唱歌推進員の美しいうたとピアノに合わせて「ひなまつり」「春の小川」「ふるさと」などの懐かしい童謡を合唱。最後に「花」をうたって締めくくりました。